

学校法人 協栄学園 伊勢志摩リハビリテーション専門学校 理学療法学科ポリシー

1. アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

ディプロマポリシーを満たし学位を取得するために必要な入学者受け入れ要件を示す。

- (1) リハビリテーションや理学療法の対象となる人々の健康や生活、疾病や障害に関心を持っている人
- (2) 自身が目指そうとする職業を理解しようと行動できる人
- (3) 自律した生活を送るための思考力、判断力を有し、自身の役割や責任を果たすことができる人
- (4) 主体性を持って多様な人々と協働し、学ぶ態度を有している人
- (5) 知識・技能の習得に際して、主体性をもって計画・行動し、努力を惜しまない人
- (6) 理学療法士として生涯にわたって自己研鑽し、社会に貢献しようとする意志を持っている人

2. ディプロマポリシー（卒業認定の方針）

卒業要件を満たすとともに、次のような資質や技能、実践的職業能力を修得した学生に卒業を認定する。

- (1) 理学療法士国家試験に合格できる知識及び思考力・判断力を修得している。
- (2) 理学療法士として臨床的問題解決に必要な知識・技能、思考力・判断力を身につけている。
- (3) 対象者の立場を尊重し、献身的・共感的態度が備わっている。
- (4) 探求と創造の姿勢を持ち、自己研鑽し、学ぶ意義を対象者の中に見出すことができる。
- (5) 対象者の問題解決に向けて、多様な人々と主体性を持って協働することができる。
- (6) 医療福祉のニーズを探求し、地域社会の健康に貢献することができる。

3. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマポリシーに示された要件を満たす理学療法士を育成するため、カリキュラムマップ・ツリーに示すような段階的、階層的な学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- (1) 知識や技能の習得にあたっては段階的・階層的に学べるカリキュラム編成とする。
- (2) 実習や演習を講義科目と連携できるように配置し、知識と技術の統合を促す実学重視の科目配置とする。
- (3) 段階的・階層的カリキュラムの履修にあたっては、次段階までに必要な知識・技術を十分に修得し、ステップアップできるように配慮する。
- (4) 各科目の相関性をカリキュラムツリーで示し、関連性を明確にして教授する。
- (5) 理学療法士国家資格を取得するため、早期より国家試験を意識した授業展開とする。
- (6) 自らの学びを促すためアクティブラーニングの機会を適宜設ける。
- (7) 主体性を持って多様な人々と協働し学ぶ態度を育むため、早期よりグループ学習の機会を設ける。
- (8) 早期より臨床実習を配置し、修得した技能を実践的な場面で実施する機会を設ける。

